

I 第1次～第9次長期研究の成果

1. 第1次長期10ヵ年研究の成果(昭和45～54年)

へき地・複式教育の充実・振興を果たすために、「人間尊重」「教育の機会均等」などの精神をベースに強い連携と協調のもと、弛みない教育活動を推進することができた。

主な成果は次のとおりである。

- ・ へき地・小規模・複式学校の特性を生かすという教育理念を確立できた。
- ・ へき地・複式教育学を創造し得た。
- ・ 共同研究組織の確立と研究の深化・拡大ができた。
- ・ 人間尊重をめざす学習指導観・学力観が確立された。
- ・

2. 第2次長期5ヵ年研究の成果(昭和55～59年)

へき地・複式教育の実践理論の構築を求め、研究主題「たくましい実践力をもって、主体的・創造的に生きる人間性豊かな子どもを育てる複式教育の究明」を掲げ、学校・学級経営と学習指導における「指導計画」「指導方法・様式」の2領域3分野について典型・定型化を求めて、総合的・共同研究を地道に進めることができた。

主な成果は、領域別に次のとおりである。

①学校・学級経営

ア 集合学習

石狩町・当別町の集合学習は、長年の研究の積み上げにより、その成果は広く全道に評価された。

- ・ 協力教授組織の確立の中で、理論研究・実践研究が進められた。
- ・ 積極的に授業改善が進められた。
- ・ 指導計画の整備・充実が進められた。
- ・ 子どもたちの相互作用により、集団性・積極性が育ってきた。

イ 特別活動

昭和60年度石狩大会引き受け決定を契機に、57・58年ころから取り組みが急増し、研究が積極的に進められた。

- ・ 地域素材の掘り起こしと、その生かし方についての望ましいあり方が追求された。
- ・ 全校縦割り班活動と集会活動の実践的研究が行われた。
- ・ 目標設定と評価活動を通し、子どもたちの変容追求が進められた。

②学習指導(計画)

- ・ 同内容指導の研究として、国語・理科の実践研究が進められた。
- ・ 類似内容指導の研究として、算数科における教材系列化による実践研究が進められた。
- ・ 学習の個別化・集団化を確かに進める指導計画作りが進んだ。
- ・ 国語科同内容指導・語彙力の強化を意図した「漢字の王様」の積極的活用と改善が図られた。

③学習指導(方法・様式)

- ・ 指導過程の最適化を求め、授業の組み立てや個別指導のあり方が数多く実践された。
- ・ 「漢字の王様」の多用な実践交流の中から改善が進み、読む力の向上が確かめられた。
- ・ 学習訓練としての話し合いの基本形が作られ、実践を通して子どもの変容が確かめられた。

3. 第3次長期5ヵ年研究の成果(昭和60～平成元年)

「基礎・基本をとらえた教育実践」「へき地・複式校の特性を生かした実践」「地域の教育力を生かした実践」の3点を重視し、実践を展開することができた。

①学校・学級経営

ア 集合学習

- ・ 音楽・体育・特別活動における集合学習が、分習・全習の関係の中で効果的に進められた。
- ・ 学習の効果を高めるための協力教授組織及び指導過程の改善と工夫がなされた。

イ 特別活動

- ・ 地域の特性や自然を生かした特別活動の取り組みが積極的に進められた。
- ・ 地域素材の教材化、地域に根ざした教育活動が積極的に展開された。
- ・ 地域素材の活用にあたっては、父母・地域社会との連携・協力関係が必要であることが確認された。

②学習指導

- ・ 児童の実態把握し、基礎学力を身につけさせる指導法の研究が進められた。
- ・ 基礎的な学習習慣を身につけさせるための理論研究・実践研究が進められた。
- ・ 自己評価・指導後の評価について検討され、実践例が出された。
- ・ 児童の実態と発達段階を踏まえた学習訓練・集団活動の実践が進められた。

4. 第4次長期4ヵ年研究の成果(平成2～5年)

第3次長期計画をもとに地域の教育課題を踏まえ、地域・父母とともに子ども一人ひとりを生かす経営と、子ども一人ひとりが自ら学ぶ態度・能力を身につけ、ともに高まっていく授業の創造を目指す取り組みをすることができた。

①学校・学級経営

- ・ 地域の特性や自然を生かした特別活動の取り組みが積極的に進められた。
- ・ 地域素材の教材化、地域に根ざした教育活動が積極的に展開された。
- ・ 表現力の育成を図る研究が、集会活動・勤労生産活動を通して行われた。
- ・ 特別活動の評価を相互評価・自己評価などのいろいろな方法によって実践された。

②学習指導

- ・ 間接指導の充実を目指す「学び方」の指導法の解明がなされた。
- ・ 児童の実態をとらえた、望ましい学習過程の研究が進められた。
- ・ 学年別指導にともない、リーダーの育成とそのあり方の研究がなされ、成果を挙げることもできた。
- ・ 児童の実態を把握し、基礎学力を身につけさせる指導法の研究が進められた。

5. 第5次長期5ヵ年研究の成果(平成6～平成10年)

第4次長期研究をもとに学校・学級経営では、「地域の当面する教育課題を踏まえ、地域・父母とともに子どもの心を育て、個性を生かすための経営の創造」を、学習指導では、「個性を發揮させながら自ら学ぶ態度・能力を身につけ、ともに高まろうという意識を育てるための学習指導の創造」を目標としてかかげて取り組みを進めた。

平成10年には全道へき地複式教育研究大会石狩大会がおこなわれ、管内9会場で授業実践が公開

された。

①学校・学級経営

- ・ 地域素材を教材化していく中で、教師自身の力量も高まってきた。
- ・ 地域の豊かな自然を生かした内容や身近な題材を取り入れることにより、子どもの内面を磨き豊かな感性を育てることができた。
- ・ 地域の歴史を調べたり、学校の周囲の自然を知ったりすることを通して豊かな心を培い、喜びを味わわせたりすることができた。
- ・ 集合学習のねらいである「多人数の中で力いっぱい活動させたい」という原点に戻り、「楽しい集合学習」の追求することにより子どもたちの表情に自信と喜びを満ち溢れさせることができた。

②学習指導

- ・ 基礎技能や表現力を高める体験的活動を通して、適切な教材と子どもへの評価・励ましが行われ、子どもたちは意欲的に取り組むことができた。
- ・ 小・中縦割り班の話し合い活動を活発にするため、どの子にも何らかの形で参加できる方策としてプリントや資料を活用することにより、下位生徒とが積極的に取り組む場面が見られるようになった。
- ・ 子ども自身が見つけた課題や実態にあった課題を与えることにより、集中して課題解決しようとする態度が身についた。
- ・ 視聴覚機器の活用や教材の工夫により、子どもの活動をスムーズにし、意欲的に取り組む授業ができた。

6. 第6次長期5ヵ年研究の成果(平成11～15年)

前年の全道大会後、半数以上の学校で研究主題を新たに設定し学校課題の究明にあたった。また、浜益村や当別町での学校の統合があり、連盟加盟校も減少し始めた。

①学校・学級経営の充実・深化に関する目標

「地域の教育課題をふまえ、家庭・地域社会とともに児童生徒に豊かな心を育て、個性を生かす学校・学級経営の創造」

②学習指導の充実・深化に関する目標

「個性を發揮しながら、自ら学ぶ態度・能力を身につけ、ともに高まっていく学習指導の創造」
上記の2分野の目標を掲げて研究を進めたが、新任者研修会、管内研究集会の実施の仕方について、大きく変更した。両事業とも隔年ごとに内容をかえて会場校の負担を軽減するとともに、管内集会においてはポスターセッション方式による研究交流を行った。

7. 第7次長期5ヵ年研究の成果(平成16～20年)

第6次長期計画をもとに、自ら創造的に学び豊かな心でたくましく郷土を拓く子どもの育成を目指し、各校の教育課題を踏まえ、学校課題を設定し、その究明にあたった。また、千歳市と当別町での学校の統合があり、連盟加盟校は減少を続けた。

①学校・学級経営の充実・深化

- ・ 三特性を踏まえ、創意工夫を生かした特色ある学校づくりの取り組みが進められた。
- ・ 地域に根ざした教育活動と、体験的な学習を通して自主性や連帯意識を高める指導が積極的に進められた。

- ・家庭や地域と連携し、豊かな心を育む学校・学級経営のあり方等の研究がなされ、成果を挙げた。
- ・市町村の近隣校や、異校種間との交流等、多様な共同研究が積極的に進められた。
- ・初めてへき地複式校に勤務する教職員を対象にした新任者研修会は、「三特性」、「わたり・ずらし」等の複式教育の基本的な用語、授業展開を学ぶことができ、研究の土台作りを行うことができた。
- ・管内研究集会を通して、へき地複式教育の課題等を交流し、共通認識を得ることができた。
- ・「各学校の研究主題や分野・課題等」の集約結果を各校に還元することで、道、管内の研究主題との関連を意識して進めることができた。
- ・加盟する学校が減少する中で、市町村や各学校との連携を深め、管内全体で研究を推進することができた。
- ・研究の成果と課題を共有し、部会員の課題意識を高める広報活動を充実させた。

②学習指導の充実・深化

- ・各教科の特質、児童の発達段階を考慮した指導計画の研究が進められた。
- ・児童一人一人の学びを豊かにする学習内容の研究が進められた。
- ・児童一人一人の学習意欲を高め、課題意識をもって主体的に学習に取り組む学習過程の研究が進められた。
- ・ガイドの育成、わたりずらし等、三特性を生かした指導方法の研究が進められた。
- ・管内研究集会では、授業公開とポスターセッションによる実践交流を隔年で行い、各学校の特性を生かした教育活動の研究が進められた。
- ・新任者研修会、管内研究集会の持ち方を工夫し、限られた時間の中で、有意義な機会となるように運営していく必要がある。
- ・児童の学習状況をきめ細かく把握する評価のあり方について、研究を進める必要がある。

8. 第8次長期5ヵ年研究の成果(平成21～25年)

第8次長期研究をもとに学校・学級経営では、「地域の教育課題を踏まえ、過程や地域と連携して児童生徒に確かな学びと豊かな心をはぐくむ経営の創造」を、学習指導では、「児童生徒が個性を發揮しながら自ら意欲をもって学び、仲間と共に高め合う学習指導の創造」を目標としてかかげて取り組みを進めた。

平成24年には全道へき地複式教育研究大会石狩大会がおこなわれ、授業実践が公開された。

①学校・学級経営の深化・充実

- ・複式・少人数学級の特性を生かし、近隣校との集合学習や交流学习の充実を図ると共に、規模の違う学校との学校間交流等の充実に努めた。
- ・体験を重視し、個に応じて問題解決に向け、自分の考えを表現し伝え合う学習の場を設定した。
- ・地域や学校の特性を生かし、地域の自然や文化財、伝統行事等の教育資源の教材化や体験的な活動を位置づけた教育課程の工夫・改善に努めた。
- ・ボランティア活動、自然体験活動、郷土の文化・伝統に親しむ活動、福祉施設での交流活動等、多様な体験活動を生かし、発達段階に応じて道徳的価値についての自覚を高める指導の充実に努めた。

②学習指導の深化・充実

- ・基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための、一人一人に応じたきめ細かな指導計画や指導方法を工夫・改善した。

- ・少人数を生かし、個人差、学年差を考慮したきめ細かな指導体制の工夫・改善を図った。
- ・一人一人の考え方、感じ方、表し方などを生かし、自ら学び合い・ねり合いのある学習指導過程の改善・充実を図った。
- ・学習課題の提示の仕方を工夫し、一人一人の興味・関心・意欲をかき立て、主体的に解決できる場、自分の考えを表現する場を保証し、自分の考えをもたせ、表現する学習活動を設定した。
- ・小規模・少人数のメリットを生かしたきめ細かな学習活動と、基礎的・基本的な力を身につけさせる指導方法の改善・充実を図った。
- ・地域の人材や地域行事・年中行事・産業・文化等の多様な教育資源を生かした体験的学習を通して、一人一人の児童生徒が自ら学びとる楽しさや成就感を体感し、主体的な学びかたを身につける指導方法の改善・充実を図った。
- ・児童生徒の実態、学習内容を考慮し、自ら学ぶことができるような個別化・集団化の改善・充実を図るとともに、一人一人の児童生徒の能力や学習状況等、個に応じたきめ細かい指導方法の改善・充実を図った。

9. 第9次長期5ヵ年研究の成果(平成26～30年)

第9次長期研究をもとに学校・学級経営では、「地域の教育課題を踏まえ、家庭や地域社会と連携し、「豊かな心」を育てる学校・学級経営の創造」を、学習指導では、「地域に根ざした、主体的・創造的な学び合いにより「確かな学力」を育てる学習指導の創造」を目標としてかかげて取り組みを進めた。

①学校・学級経営の深化・充実

- ・体験を重視し、個に応じて問題解決に向け、自分の考えを表現し伝え合う学習の場を設定した。
- ・地域や学校の特性を生かし、地域の自然や文化財、伝統行事等の教育資源の教材化や体験的な活動を位置づけた教育課程の工夫・改善に努めた。
- ・ボランティア活動、自然体験活動、郷土の文化・伝統に親しむ活動、福祉施設での交流活動等、多様な体験活動を生かし、発達段階に応じて道徳的価値についての自覚を高める指導の充実に努めた。

②学習指導の深化・充実

- ・基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための、一人一人に応じたきめ細かな指導計画や指導方法を工夫・改善した。
- ・少人数を生かし、個人差、学年差を考慮したきめ細かな指導体制の工夫・改善を図った。
- ・一人一人の考え方、感じ方、表し方などを生かし、自ら学び合い・ねり合いのある学習指導過程の改善・充実を図った。
- ・学習課題の提示の仕方を工夫し、興味・関心・意欲を持って主体的に解決できる場、自分の考えを表現する場を保証し、自分の考えをもたせ、表現する学習活動を設定した。
- ・小規模・少人数のメリットを生かしたきめ細かな学習活動と、基礎的・基本的な力を身につけさせる指導方法の改善・充実を図った。

Ⅱ 道へき複連 第10次長期5ヵ年研究推進計画

教育の今日的な動向(中教審答申)

- ①これまでの経緯と子供たちの現状
- ②2030年の社会と子供たちの未来
- ③「生きる力」の理念の具体化と教育課程
- ④社会に開かれた教育課程
- ⑤何ができるようになるか
- ⑥何を学ぶか
- ⑦どのように学ぶか
- ⑧子供一人一人の発達をどのように支援するか
- ⑨何が身に付いたか



新学習指導要領の基本的な考え方

- ①教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ、「生きる力」を育成
- ②知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視、授業時数を増加
- ③道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成



へき地・複式教育推進の観点

- これまで道へき・複連が累積してきた研究の成果を踏まえ、さらに長期・課題別・共同研究方式による実践的な研究を推進する。
- へき地・複式教育の特性をプラスに生かした特色ある教育活動を推進する。
- ①家庭や地域社会との連携を強化し、地域に根ざした開かれた学校の創造
- ②地域の自然環境や社会環境を生かし、多様な体験学習を取り入れた教育課程の編成
- ③複式・少人数指導の利点を生かした、望ましい学習集団の育成
- ④地域の教育素材を生かし、児童生徒の実態に即した自主教材の開発
- ⑤児童生徒の「自ら学ぶ力」の育成を基本とし、問題解決的な学習を重視した学習指導法の工夫改善



研究主題と副主題

「主体的・協働的に学び、

ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」

～児童生徒一人一人が仲間とつながり、

地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

I 学校・学級経営の深化・充実

《目 標》

学校と家庭・地域が一体となり「豊かな人間性を育む」学校・学級経営の創造

《課 題》

- 1 確かな経営理念の確立と、家庭や地域と連携した確かな学びを創る特色ある教育課程の創造と推進
- 2 ふるさとで学び、新しい時代を拓く、開かれた学校・学級経営の創造と推進
- 3 地域に根差し、家庭や地域と連携して豊かな心を育む教育活動の創造と推進

Ⅱ 学習指導の深化・充実

《目 標》

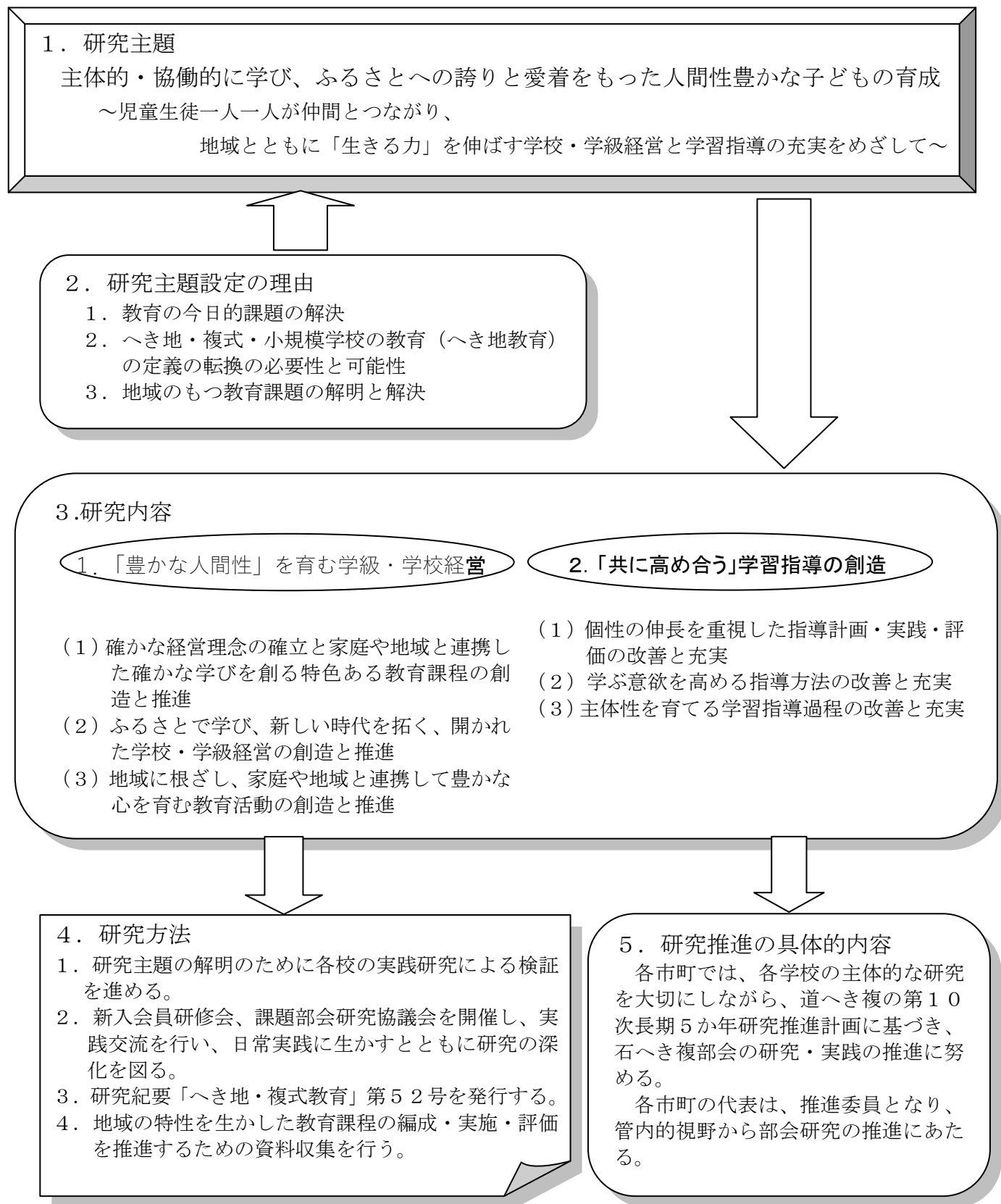
主体的・協働的な学び合いにより「共に高め合う」学習指導の創造

《課 題》

- 4 個性の伸長を重視した指導計画・実践・評価の改善と充実
- 5 学ぶ意欲を高める指導方法の改善と充実
- 6 主体性を育てる学習指導過程の改善と充実

Ⅲ 令和元年度の研究計画と反省

1. 研究の概要



2. 研究方法の具体的内容

- (1) 各学校の研究責任者は、校内研究と石教研へき地・複式教育部会の研究計画を可能な限り関連づけ、校内研究において石教研へき地・複式教育部会としての研究・実践に努める。具体的には、上記研究内容の研究・実践に努める。
- (2) 各市町村研究推進委員は、各学校の主体的な研究を大切にしながら、各市町村の研究を道へき複連第10長期5か年研究推進計画の1年目として位置づけ、石教研へき地・複式教育部会としての研究・実践に努める。具体的には、上記研究内容の研究・実践に努める。
- (3) 管内的研究実践の推進
 - ①新入会員研修会を開催し、へき地・複式教育研究の理解を深め、少人数・複式学級における授業のあり方を研修し、指導力を高める。
 - ②へき地・複式教育部会研究協議会を開催し、へき地複式教育研究の研究・実践の推進に努める。
 - ③へき地・複式教育部会研究紀要『へき地・複式研究』第52号を発行し、共同研究の成果を集約する。
- (4) 「複式教育課程」検討委員会の活動
複式教育課程の実施にともなう各校の情報交換を行い、実践上の課題を明らかにし、改善・充実に努める。

3 今年度の反省

- (1) 研究主題と各学校の校内研究の関連について
 - ①課題（少人数ならではのよさが生きる指導方法・体制の工夫・改善、学ぶ力を高め、相互に学び合う指導過程の工夫・改善）の解決に向け、各校においてその具現化をめざし、実践を重ねてきた。
 - ②へき地・複式教育部会研究協議会を開催し、複式教育への理解を深めたり、課題や取り組みの情報交換を行うことで、より実践的な指導法の共有を図ることができた。
 - ③新入会員研修会を江別市立北光小学校で開催し、複式授業の基本について研修した。また、日常の課題を交流することで、指導方法の改善など、日常の実践に生かされるものとなった。
 - ④それぞれの学校の具体的な成果を共有し、共通的な課題の解明に向けた取り組みが必要である。また、各学校の研究においても、道・管内の研究主題との関連を意識しながら進めていくことが大切である。
- (2) 各市町村の共同研究について
市町村ごとで、集合体育や宿泊学習等の行事を実施している。市町村ごとに授業公開等の共同研究も進めている。しかし、へき地複式部会所属の学校数の減少（今年度江別市立望来小学校が閉校）から、市町村ごとの共同研究が難しくなっているのも事実である。これらのことから、複式授業のあり方等の研究については、今後はますます管内全体で進めていくことが必要になると考えている。

4. 各校の取組み

学校名	研究主題	領域・道へきとの関連
駒里小中学校 (千歳)	『主体的に考え、表現できる子の育成』 ～各教科での言語活動の工夫・充実を通して～	各教科 学校・学級経営 2 学習指導 6
支笏湖小学校 (千歳)	『自ら考え、判断し、実行する『自己決定力』をもつ子どもの育成』 ～豊かな道徳性を育む指導を通して～	道徳 学校・学級経営 1 学習指導 6
東小学校 (千歳)	『主体的に考え、互いに考えを伝え合い、進んで学ぶことのできる子どもの育成』～一人一人の学びを広げる授業をつくる～	全教科 学校・学級経営 3 学習指導 6
北光小学校 (江別)	『主体的に追究し、いきいきと学び合う子どもの育成』 ～算数科における深い学びにつなげる効果的な指導の工夫を通して～	算数科 学校・学級経営 3 学習指導 6
厚田小学校 (石狩)	『主体的に学び、協同的に課題解決をする子どもの育成』	全教科 学校・学級経営 3 学習指導 5・6
聚富小中学校 (石狩)	『思考を深める道徳授業づくり』 ～道徳授業のプロセス化と授業の工夫を通して～	道徳科 学校・学級経営 3 学習指導 6
浜益小学校 (石狩)	『自分の考えと友だちの考えをつなげて、 思考が深められる子どもの育成』 ～国語科授業のユニバーサルデザイン化を通じた アクティブラーニングの追求～	国語科 学校・学級経営 2 学習指導 6
八幡小学校 (石狩)	『基礎基本を支える学習習慣のあり方と学習規律』 ～八幡スタイルの改善と確実な定着を目指して～	学習規律 学校・学級経営 1 学習指導 6

IV 研究の経過

年度	所属学校	新任者研修会	管内研究協議会	教育課程検討委員会	「漢字の王様」検討委員会
19年度	駒里、支笏湖、東、角山、北光、弁華別、東裏、厚田、望来、聚富	算数の授業 渡辺智教諭 (駒里小) 5 / 15	実践交流会 研修センター 10 / 3	アンケート	「書き編」の改訂作業 CD-ROM 作成配布
20年度	駒里、支笏湖、東、角山、北光、弁華別、厚田、望来、聚富	講演・渡辺智教諭 (駒里小) 研修センター 5 / 8	実践発表 望来小学校 (算数) 11 / 12	アンケート 移行措置に向けて教育課程編成にかかわる交流	アンケート 「書き編」の改訂作業
21年度	駒里、支笏湖、東、角山、北光、弁華別、厚田、望来、聚富	算数の授業 高橋基教諭 (弁華別小) 5 / 18	全道大会に向けての講演会 研修センター9/30	アンケート	アンケート
22年度	駒里、支笏湖、東、角山、北光、弁華別、厚田、望来、聚富	全道大会に向けたブロック授業交流会として実施 北ブロック 厚田小 望来小 聚富小中 中央ブロック 角山小中 北光小中 弁華別小 南ブロック 支笏湖小 東小 駒里小中		アンケート	アンケート

年度	所属学校	新任者研修会	管内研究協議会	教育課程検討委員会	「漢字の王様」検討委員会
23年度	駒里、支笏湖、東、 角山、北光、弁華別、 厚田、望来、 聚富		「石狩大会」に向けた研 究や運営等の交流	資料収集	資料収集
		第61回全道へき地複式教育研究大会 石狩プレ大会 開催 運営校 聚富小中 角山小中 駒里小中 会場校 弁華別小 北光小 (9/30) 支笏湖小 東小 (9/22) 厚田小 望来小 (9/30)			
24年度	駒里、支笏湖、東、 角山、北光、弁華別、 厚田、望来、 聚富		「石狩大会」に向けた研 究や運営等の交流	資料収集	資料収集
		第61回全道へき地複式教育研究大会開催 全体会 ホテルライフオーツ札幌 (9/20) 運営校 聚富小中 角山小中 駒里小中 会場校 弁華別小 北光小 支笏湖小 東小 厚田小 望来小 (9/21)			
25年度	駒里、支笏湖、東、 角山、北光、弁華別、 厚田、望来、 聚富、浜益	算数の授業 岩本あゆみ教諭 (聚富小) 説明 高橋基教諭 (弁華別小) 5/18 聚富小	実践交流会 全体会 各校の研究概要の発表 分科会 9/3 北光小	資料収集 実践交流	意見集約
26年度	駒里、支笏湖、東、 角山、北光、野幌、 弁華別、厚田、望来、 聚富、浜益	国語の授業 福島剛教諭 (北光小) 説明 高橋基教諭 (弁華別小) 5/14 北光小	授業交流 北ブロック 厚田小 南ブロック 駒里小 研究協議と授業交流 9/2	資料収集 実践交流	
27年度	駒里、支笏湖、東、 角山、北光、野幌、 弁華別、厚田、望来、 聚富、浜益	算数の授業 高橋瑞穂教諭 (望来小) 説明 高橋基教諭 (弁華別小) 5/21 望来小	実践交流会 全体会 講演会 山田潮教諭 (東 野幌小) 分科会 9/1 野幌小	資料収集 実践交流	
28年度	駒里、支笏湖、東、 角山、北光、野幌、 厚田、望来、聚富、 浜益、八幡	国語の授業 由木千束教諭 (駒里小) 5/17	授業交流 9/6 北ブロック 浜益小 南ブロック 東小 研究協議と授業交流	資料収集 実践交流	
29年度	駒里、支笏湖、東、 角山、北光、野幌、 厚田、望来、聚富、 浜益、八幡	算数の授業 大畠 玲教諭 (聚富小) 5/16	実践交流会 講演会 飯嶋裕也氏 (北 海道立教育研究所) 分科会 9/5 北光小	資料収集	
30年度	駒里、支笏湖、東、 北光、野幌、厚田、 望来、聚富、浜益、 八幡	算数の授業 弥勒院 瑞枝教諭 (北光小) 5/15	授業交流 9/6 北ブロック 厚田小 南ブロック 駒里小 研究協議と授業交流	資料収集	
31年度	駒里、支笏湖、東、 北光、厚田、聚富、 浜益、八幡	算数科の授業 山田 修司教諭 (厚田小) 5/14	浜益小研究発表・各学校 紹介・実践交流会 9/3 北光小	資料収集	